

FUKU! SOBA

No.3

福井県産ソバの『高単収』を目指して!!

今年は、播種時期の好天により生育は良好です。稲刈り時期で忙しい中ではありますが、ソバの管理もお願い致します。特に8月中旬に播種した圃場では9月中旬頃に開花が始まります。開花後約30日で黒化しますので状況を確認しながら管理を行いましょう。

1. ヨトウムシ対策

ヨトウムシは、9月中旬頃から突発的に被害が発生し始めます。播種時期の早い圃場や生育の旺盛な圃場を中心に見回り、被害が見え始めたら早急に防除を行いましょう。発生すると被害が急激に広がるため、早期発見と適期防除が重要です。

【ハスモンヨトウに登録のある殺虫剤】

薬剤名	使用時期	使用回数	希釈倍数	使用量(10a)
ロムダンフロアブル	収穫21日前まで	2回以内	2,000倍	100～300L
ロムダン粉剤 DL	収穫21日前まで	2回以内	—	4kg
ゼンターリ顆粒水和剤	発生初期(収穫前日まで)	—	2,000倍	100～300L
フェニックス顆粒水和剤	収穫7日前まで	2回以内	2,000～6,000倍	100～300L



■ 設置数の目安
2～4個/ha



【フェロモントラップ：ハスモンヨトウ雄成虫誘引剤】

- フェロディンSLなどのフェロモントラップを設置していない圃場では早急に設置し交雑を抑える。
- 団地化された地域では、誘殺用フェロモントラップの圃場への設置が被害の発生防止に有効です。
- 設置位置は風通しが良く、地上から1.0m～1.5mで草丈より高い位置に設置する。
- 誘引剤は即効的ではないため、食害発生が見られた場合は上記の薬剤で早急に防除する。

2. 帰化アサガオ類対策

マルバルコウ(帰化アサガオ類)の種子は、ソバの実と見分けが付きにくい形状・色であるため、混入した場合、ふるいによって落とすことができません。畦畔で花を発見した場合は、直ちに除草剤によりソバへの混入を防ぎましょう。

【使用除草剤】

- バスタ液剤または ● ザクサ液剤



帰化アサガオの種



ソバの実

3. 排水対策

線状降水帯発生による局所豪雨や今後、台風の多発時期でもあり、豪雨によって冠水被害の発生が懸念されます。今一度、排水路の確認を行いましょう。